

「Daily Scene 1 体調をたずねる」

本題材で育成する資質・能力

日常的な話題について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする能力

- 1 日時 令和2年10月2日 9:55～10:45
- 2 学年 第1学年2組 (男子20名 女子17名 合計37名)
- 3 場所 4F 英語教室
- 4 単元について

- 本単元では、相手の体調を尋ねたり、自分の体調を説明したりする場面の表現を学ぶ。学習指導要領の話すこと [やり取り] では、「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる」とある。そこで今回は、直前のUnit5で学習した疑問詞 What と形容詞からなる What's wrong?を中心として体調を尋ねる表現や、I have で自分の体の不調を説明する表現など基本的な表現を身につけさせるとともに、ペアでのロールプレイングを通してコミュニケーション能力を養う。
- 本学級の生徒は、英語学習に関するアンケートで次のように答えている。

英語の勉強は好きです。	肯定的回答 84%
英語は必要だと思います。	肯定的回答 94%
ペアやグループなどで活動を行うことが好きです。	肯定的回答 90%
英語の授業では自分のことや気持ちなどを英語で話しています。	肯定的回答 94%
小学校での英語活動が中学校での英語学習につながっていると思います。	肯定的回答 84%

以上の結果から、本学級の生徒は英語の必要性を感じている。音読練習の際もしっかり声を出し、ペアやグループでのコミュニケーション活動も積極的に行うことができる。また、自己表現活動にも意欲をもって取り組むことができる。しかし、英語の勉強が好きだと答えた生徒の肯定的回答の割合は他の回答に比べて低いことから、英語に対して苦手意識を持っている生徒も多いことがわかる。その原因として、「書くこと」の難しさが考えられるが、「書くこと」の課題を解決するために、「話すこと」の楽しさを実感させ、「書くこと」にも少しずつ慣れさせていきたい。

- 相手の体調を気遣ったり、自分の体調が悪いときに適切に説明してアドバイスを受けたりすることは、日常の中では頻繁に起こりうることである。また将来、旅行などで海外を訪れた時に旅先で具合が悪くなったりすることも十分に起こりうるため、自分の病状を説明する表現を身につけておくことは重要なことである。これらのことをふまえ、体調についてたずねたり答えたりする表現を理解するとともに、オリジナルのスキットを作らせるというタスクを示し、ペアでスキットを作り発表させる。体調を尋ねたり答えたりするという日常的な話題について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする場面を経験させたい。評価については、コミュニケーションの場面なので、形式の完全さだけにこだわらず、伝えようとする意欲や態度を重視したい。

5 目 標

- 場面を意識して、相手の体調を尋ねたり、自分の体調を説明することができる。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
ペアワークにおいて、 間違ふことを恐れず積 極的に話している。	相手の体調を尋ねた り、自分の不調につい て説明したりすること ができる。	自分と相手以外の人につ いての会話文の内容を聞 きとることができる。	体調を尋ねる表現や、体 の不調を伝える表現を見 につけている。

7 指導計画（全2時間）

過 程	次	学習内容（時数）	観 点				評 価	
			関	表	理	知		資質・能力（評価 方法）
課 題 の 設 定	1	・What's wrong?/I have a ~. の表現 を中心としたス キットを書く活 動 (1時間)	○			◎	◎具体的な場面を設定し、新たに学 んだ表現をそれぞれ2文以上ず つ使い、4往復以上の会話文を完 成させることができる。 ○具体的な場面を設定し、新たに学 んだ表現をそれぞれ1文ずつ使 い、3往復の会話文を完成させる ことができる。	【知識・理解】(ワ ークシート)
ま と め ・ 創 造 ・ 表 現	2	・作成したキット をグループ内で 発表する活動 (1時間)		◎	○		◎正しいアクセントや発音で、ジェ スチャーやアイコンタクトを交 えて発表できている。 ○間違いを恐れず、積極的に表現 しようとしている。	【表現力】 (行動観察)

8 本時の展開

(1) 本時の目標

○場面を意識して、相手の体調を尋ねたり、自分の体調を説明することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・具体的な場面設定を行いつつ、体調を尋ねたり、自分の体調を説明する表現を取り入れ、会話を3往復以上作ることができる。

- 具体例 ① Doctor : How are you today, Kenta? Erika : Not so good.
 ② Doctor : What's wrong? Erika : I have a fever.
 ③ Doctor : Take this medicine. Erika : OK. Thank you.

(3) 準備物

テレビ コンピューター 英文カード ワークシート ワークシートの拡大プリント
 振り返りシート

(4) 学習の流れ (1時間目/全2時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力(評価方法)
1 帯活動とねらいの確認 [8分]		
1 あいさつ	◇英語を話しやすい雰囲気をつくる。	
2 ねらいの確認		
ねらい 場面を意識して、相手の体調を尋ねたり、自分の体調を説明することができる。		
3 Phonics の練習	◇振り返りシートに英語で天気・曜日・日付を書かせることで、スペルを定着させる。 ◆教科書 P8~9 または単語プリントに天気・曜日・日付が載っていることを伝える。	
4 Questions and Answers の練習	◇Phonics Practice Sheet を使って、全体での発音練習を行い、ペアで発音練習を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">wh → what, when, which, ...</div>	
	◇Questions and Answer Sheet を用いて、病院でのやり取りの様々な表現を練習する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">A : What's wrong? B : I have a headache.</div>	

2 Daily Scene 1 の内容理解と、課題の提示。[15分]		
<p>4 Daily Scene の内容理解を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を閉じ、聞く視点を与えてリスニングを行う。 ・教科書本文の内容理解を行う 	<p>◆教科書本文の英文カードを黒板に掲示する。</p> <p>◇キーワードを与え、その言葉をしっかり聞き取らせることで、会話はどのような状況で行われているか、を理解させる。</p> <p>◇教科書本文の重要表現と内容を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Father : Erika, how are you today? Erika : Not so good. Father : What's wrong? Erika : <u>I have a headache.</u> Father : <u>Take this medicine,</u> <u>and take a rest.</u> Erika : Thank you, Dad.</p> </div> <p>◇教科書本文の意味を確認しつつ、口頭練習を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>① Repeat after the teacher. ② Part reading ③ Pair Reading</p> </div>	
<p>5 課題意識を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文以外にも様々な場面や表現があることを意識させるため、体調を尋ねるスキットの例文を2つ提示し、内容の確認をする。 	<p>◆教科書本文の表現を少し変えたものを提示する。</p> <p>〈スキット例〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Doctor : Erika, how are you? Erika : Not so good. Doctor : What's wrong? Erika : I have a <u>stomachache.</u> Doctor : <u>Let's wait and see, and</u> <u>take a rest.</u> Erika : OK. Thank you.</p> </div> <p>◇少し文を変えてスキットを作れることを示し、自分たちでオリジナルのスキットを作ることを指示する。</p>	
<p>・学習課題の提示</p>	<p>本時の課題 2文以上の新しい表現を使い、3往復以上の会話文を完成させよう。</p>	

3 情報を整理・分析し、課題解決をする。[22分]		
6 ペアでスキットを作る ・具体的な場面や病状を設定させる。	◇スキットを英語で作ることを伝え、実際に自分たちが海外で使いそうな表現を意識して場面を考えさせる。 ◆参考となる表現(Questions and Answers Worksheet)を提示する。 ◆様々な体調を尋ねる場面の写真を提示し、状況をイメージしやすくする。	
・ペアで病状や場所をイメージし、役になりきってスキットを作る。	◆自分たちで工夫した英文を書こうとしているか確認し、必要に応じて支援する。	★主体性 (活動の観察) ★表現力(後日クラス発表)
4 本時を振り返り、次時につなげる。[5分]		
8 本時を振り返り、次時につなげる。		★主体性 (振り返りシート)
<p>生徒のまとめ例</p> <p>実際に病院に行った状況をイメージして文を書けた。「咳がでます。」という表現は I have a cough.と知り、それを文の中に取り入れることができた。</p>		

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック (パフォーマンス評価)

尺度(評点・レベル)	記述語
A (理想的)	具体的な場面を設定し、新たに学んだ表現をそれぞれ2文以上ずつ使い、4往復以上の会話文を完成させることができる。 例 Doctor: What's wrong? Kenta: <u>I have a fever.</u> Doctor: <u>When did it start?</u> Kenta: <u>From Monday.</u> Doctor: <u>Do you have a cough?</u> Kenta: <u>Yes, I do.</u> Doctor: <u>Let's take a test.</u> Kenta: <u>OK.</u>
B (合格)	具体的な場面を設定し、新たに学んだ表現をそれぞれ1文ずつ使い、3往復の会話文を完成させることができる。 例 Teacher: How are you today? Kenta: Not so good. Teacher: What's wrong? Kenta: I have a <u>stomachache.</u> Teacher: <u>Go to the nurse's office.</u> Kenta: Thank you.
C (乗り越えさせたい実態)	教科書の本文を参考にしているが、スキットを完成できていない。 例 Teacher: What's wrong? Kenta: I have a

(5) 板書計画

sunny Friday October second

Today's Goal 場面を意識して、相手の体調を尋ねたり、自分の体調を説明することができる。

Today's Task 2文以上の新しい表現を使い、3往復以上の会話文を完成させよう。

教科書の英文

スキット例

Questions and Answers

8 本時の展開

(1) 本時の目標

○場面を意識して、相手の体調を尋ねたり、自分の体調を説明することができる。

- ・具体的な場面設定を行いつつ、体調を尋ねたり、自分の体調を説明する表現を取り入れ、会話文を3往復以上作ることができる。

具体例 ① Doctor : How are you today, Kenta? Erika : Not so good.

② Doctor : What's wrong? Erika : I have a fever.

③ Doctor : Take this medicine. Erika : OK. Thank you.

- ・具体的な場面が伝わるように、完成したスキットをグループ内で発表することができる。

(3) 準備物

テレビ コンピューター 英文カード ワークシート ワークシートの拡大プリント
振り返りシート

(4) 学習の流れ (1時間目/全2時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 (評価方法)
1 帯活動とねらいの確認 [20分]		
1 あいさつ	◇英語を話しやすい雰囲気をつくる。	
2 ねらいの確認		
ねらい 場面を意識して、相手の体調を尋ねたり、自分の体調を説明することができる。		
3 Phonics の練習	◇振り返りシートに英語で天気・曜日・日付を書かせることで、スペルを定着させる。 ◆教科書 P8~9 または単語プリントに天気・曜日・日付が載っていることを伝える。	
4 Questions and Answers の練習	◇Phonics Practice Sheet を使って、全体での発音練習を行い、ペアで発音練習を行う。 ◇Questions and Answers ワークシートを使って、全体での発音練習を行い、ペアで練習を行う。	
2 前時の復習と、課題の提示。[10分]		
4 課題を設定するための導入を行う	◆教科書本文の英文カードを黒板に掲示する。 ◇教科書本文の意味を確認しつつ、発音練習を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">① Repeat after the teacher. ② Part reading ③ Pair Reading</div>	

<p>5 課題意識を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の体調を尋ねたり、自分の体調を説明したりする状況は自分たちにとって身近なものであることを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇医療ドラマの問診シーンを流す。 ◇実際にドラマ等で体調を尋ねるシーンを目にしたり、自身が体験したりしたことがあることを意識させる。 ◆生徒たちが興味を示しやすいものを流す。 	
<p>・学習課題の提示</p>	<p>本時の課題 自分で作ったスキットを用いて、医者と患者を英語で演じよう。</p>	
<p>3 情報を整理・分析し、課題解決をする。[15分]</p>		
<p>6 スキットの発音練習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に提示したスキットの例文の発音練習を行う。 前時に作成したスキットの発音練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇練習でジェスチャーとアイコンタクトを取り入れ、場面を意識させながら発音練習を行う。 ◇練習をする際、以下の点を意識し、医者と患者を演じながら練習することを伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>発音の際意識する点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Gesture ・ Eye Contact ・ Facial Expression <p>(体調の悪そうな顔, 心配そうな顔, 笑顔等)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆意識する点を取り入れつつ発音練習をしているか確認し、必要に応じて支援する。 	
<p>7 作ったスキットを6人グループの中でロールプレイングする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇発表を見る際は、発表者が発音の際意識する点ができているかどうかをチェックするよう伝える。 3段階で評価できるチェックシートを配布し、それに記入する。 	
<p>8 スキットの内容やロールプレイングの仕方を再度検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇それぞれのペアの発表の感想やアドバイスを伝え合い、スキットを改善した上で再度練習を行う。 ◆必要に応じて支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ★主体性 ★表現(後日クラス発表)
<p>9 グループを再編成し、ロールプレイングを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇先ほど改善した部分を意識するよう伝える。 	

10 代表グループがクラス ないで発表する	◇2グループ選び、全体の前でロールプレ イ ングを行う。	
4 本時を振り返り、次時につなげる。[5分]		
1 1 本時を振り返り、次時 につなげる。		★主体性(振り返りシート)
<p>生徒のまとめ例 友達からアドバイスをもらうことによって、自分たちの文で間違っていた部分に気づき、直して発表できた。ジェスチャーは頭痛というとき頭に手を当てて表現した。</p>		

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック (パフォーマンス評価)

尺度(評点・レベル)	記述語
A (理想的)	<p>具体的な場面を設定し、新たに学んだ表現をそれぞれ2文以上ずつ使い、4往復以上の会話文を完成させることができる。</p> <p>例 Doctor: What's wrong? Kenta: <u>I have a fever.</u> Doctor: <u>When did it start?</u> Kenta: <u>From Monday.</u> Doctor: <u>Do you have a cough?</u> Kenta: <u>Yes, I do.</u> Doctor: <u>Let's take a test.</u> Kenta: <u>OK.</u></p>
B (合格)	<p>具体的な場面を設定し、新たに学んだ表現をそれぞれ1文ずつ使い、3往復の会話文を完成させることができる。</p> <p>例 Teacher: How are you today? Kenta: Not so good. Teacher: What's wrong? Kenta: I have a <u>stomachache.</u> Teacher: <u>Go to the nurse's office.</u> Kenta: Thank you.</p>
C (乗り越えさせたい実態)	<p>教科書の本文を参考にしているが、スキットを完成できていない。</p> <p>例 Teacher: What's wrong? Kenta: I have a ……</p>

(5) 板書計画

sunny Friday October second

Today's Goal 場面を意識して、相手の体調を尋ねたり、自分の体調を説明することができる。

Today's Task 自分で作ったスキットを用いて、医者と患者を英語で演じよう。

教科書の英文	スキット例1	Questions and Answers
--------	--------	-----------------------